

WEEKLY SIGNAL

2020年4月24日(金) 1522号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	4/27(月)	4/28(火)	4/29(水)	4/30(木)	5/1(金)
無担保O/N			△ 0.087%	～ 0.001%	
銀行券	△ 1,800	△ 1,000		△ 2,500	△ 1,000
財政他	△ 3,600	+ 8,000		+ 3,000	△ 20,000
資金需給	△ 5,400	+ 7,000		+ 500	△ 21,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)		昭和の日		国債発行(2Y)
オペ期日	共通担保 △ 14,600 補完供給 + 500 CP等買入 △ 400				
オペスタート	共通担保 + 13,400 国債買入 + 2,000 ETF買入 + 1,100 企業金融支援特別 + 200			CP等買入 + 6,000	
(日本)	日銀金融政策決定会合 展望レポート、公表 黒田日銀総裁、会見	有効求人倍率(3月) 失業率(3月)		日銀、当面の長期国債等の 買い入れについて 小売売上高(3月) 鉱工業生産(3月) 百貨店・スーパー売上高(3月) 住宅着工件数(3月)	自動車販売台数(4月)
(海外)		米 FOMC(29日まで) 米 主要20都市住宅価格指数(2月) 米 消費者信頼感指数(4月)	米 FOMC、声明発表 米 ハウエルFRB議長会見 米 GDP(1Q) 米 中古住宅販売成約指数(3月) ユーロ圏 景況感指数(4月) ユーロ圏 消費者信頼感指数(4月)	ECB、政策金利発表 ワカド ECB総裁記者会見 米 新規失業保険申請件数 (4月25日終了週) ユーロ圏 GDP(1Q) ユーロ圏 失業率(3月)	米 自動車販売(4月) 米 ISM製造業景況指数(4月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.030 ~ 0.030
SPOT 2M	△0.020 ~ 0.040
SPOT 3M	0.000 ~ 0.070
SPOT 6M	0.000 ~ 0.130

＜インターバンク＞

日銀当座預金残高は週初411兆2,400億円から始まり、その後も概ね横ばいで推移し、411兆円200億円を越えた。無担保コールON物加重平均金利は、狭いレンジで推移した。週初△0.042%から始まり、週末にかけて徐々に低下し、24日には△0.047%となった。ターム物は、1W～1Mの期間で、△0.030～△0.020%の出合が見られた。23日の月例経済報告(4月)では、新型コロナウイルスの感染拡大で景気が「急速に悪化しており、極めて厳しい状況」との認識が示された。「悪化」と表現するのはリーマン・ショックの影響が残る2009年5月以来ほぼ11年ぶり。先行きについても、「感染症の影響による極めて厳しい状況が続く」と見込まれている。来週の主な予定は日銀金融政策決定会合、展望レポート公表(27日)、海外ではFOMC(28,29日)、ECB政策金利発表(30日)がある。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	0.100 ~ 0.400
TDB 3M	△0.180 ~ △0.130
現先(on/1w)	0.000 ~ 0.003

＜CP＞

今週の入札発行総額は約6,000億円で、週間償還額(約5,000億円)を上回った。発行市場は、電力・鉄鋼・食品業等の大型案件が実施され活況となった。引き続き、想定した発行レートが目線と折り合わない場合、発行体が減額対応をする動きが見受けられた。発行残高は、先週末の23兆7,724億円から23日時点では23兆8,400億円弱と、700億円弱増加した模様。発行レートは、前週より若干低めの水準で推移し、0.10%近辺～0.30%台後半での出合いとなった。来週の週間償還額は、月末の大量償還(約6,700億円)を含め、約9,400億円となっている。発行市場は、月末スタートの発行が減少する見通しとなっているため、取引閑散が予想される。発行レートは、引き続き幅広いレンジでの出合いと思われる。24日に、CP等買入れオベが2,000億円増額され、6,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.052%・平均落札レート0.081%と前回比(按分レート0.106%・平均落札レート0.164%)から大幅に低下した。

＜TDB＞

24日の3M903回債(7/27償還)の入札は、最高落札利回り△0.1142%、平均落札利回り△0.1283%となり、入札後△0.14%～△0.15%のレンジで取引された。そのほかセカンダリーでは3M902回債(7/20償還)が△0.175%、6M899回債(10/12償還)が△0.175%、1Y901回債(4/20償還)が△0.185%～△0.195%の水準で出合が見られた。

＜レポ＞

足許GC取引は週初△0.12%近辺から始まった。以降は週後半まで△0.16%～△0.125%で取引された。国庫短期証券の発行があった週末の27日受渡しでは△0.12%台から出合い始め、△0.09%台まで上昇した。SC取引は2年409～411回債、5年137～143回債、10年336～358回債、20年168～172回債、30年59～66回債、40年12回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。